

9月11日(金) その1



コロナ対応のため、今年はテントが2張り増設してあったものの、休憩時間は、いつもの「密」になっていました。熱中症の危険もあり、マスク着用は自主判断とされました。刈谷市の担当者の呼びかけで、心なしか、皆さん距離を意識しているようでした。



激励に訪れた刈谷市の稲垣市長

天気予報が外れ、雨の心配なく始まった2日目。この日は一日で過去最多となる27名が参加。その中で17名が社外の皆さんでした。出光さん11名、東海コンサルティングさん3名。そして、今はセブンイレブンの直営店(トレーニング・ストア)となった「刈谷井ヶ谷町店」さん3名。うち5名が初参加とあって、グリーンのリボンが識別に大いに役立ちました。



初参加者の作業は一回目が草刈り。池に入って、葉の形状から見分け方を教わり、カキツバタを残して、ヨシやアゼスゲを刈ります。今年は「守る会」の午後の作業が中止となったため、手刈りのエリアが少なくなりました。



イデキュー部隊の主戦場では、竹の運び出しだけでなく、伐り出しや、チェーンソーでの裁断を手伝ったりもします。

